

1. 研究概要

私は現在「オーストラリアにおける先住民族に対する公共図書館サービス：ブリスベン市の図書館プログラムに着目して」と題して、卒業研究に取り組んでいる。今回、訪問調査及びインタビュー調査のために図書館情報学海外研修助成を頂き、平成 25 年 9 月 15 日から 20 日にかけて、ブリスベン市内の図書館 4 館を訪問した。また、文献資料や web ページからは得ることが出来ない情報と資料を収集し、ブリスベン市内の図書館職員へのインタビューを行った。

2. 研究報告

訪問調査を行った 4 館のうち、先住民族への図書館サービスを行っていたクイーンズランド州立図書館とブリスベン・スクエア図書館の 2 館の取り組みについて報告する。

2.1 クイーンズランド州立図書館における先住民への図書館サービスについて

クイーンズランド州立図書館においては、2006 年より「kuril dhagun」（Turrubul/Dippil 語 訳：水ネズミの場所）という専門的な機関を設置して先住民に対する図書館サービスを行っている。先住民族の文化を後世へと伝えることを目的として、口承や舞踊といった無形の文化を展示やインターネットを用いて一般に広く公開している。また、独自にアボリジナル及びトレス海峡諸島民への図書館サービスの



図 1 kuril dhagun 内の展示の様子

の基準（Library Services Standard for Aboriginal People and Torres Strait Islanders）という基準を設け、それに従い、図書館サービスを提供している。コレクションや 200 種類以上にのぼる先住民の言語について保護する方針について記載したガイドラインなど、様々な基準や方針のもとで、先住民サービスを行っている。

今回現地調査に赴いた際には、州立図書館全体で「QUEENSLAND BAND CULTURE」というクイーンズランド州での音楽文化に関するイベントを開催しており、kuril dhagun においても先住民の音楽家たちの活動についての展示を行っていた。展示は、音楽家の活動を紹介するパネル展示に加え、関連する映像や音楽を視聴できるようになっていた。

2.2 ブリスベン・スクエア図書館（ブリスベン市議会図書館）における先住民族に対する公共図書館サービスについて

ブリスベン市議会図書館は、ブリスベン市とその近郊の都市に設置された公共図書館のことをいう。今回、現地調査に赴いた公共図書館において実施されていた先住民へのサービスは、その土地の歴史について記述された図書を排架することや、先住民アートについて紹介された図書を排架するというものであった。とりわけ、先住民に対して何か特別なサービスを提供しているというわけではなく、多様な文化の一つとして扱っている。クイーンズランド州全体では、先住民の占める割合は多いものの、その多くは遠隔地に住んでいるため、実際にブリスベ市内における先

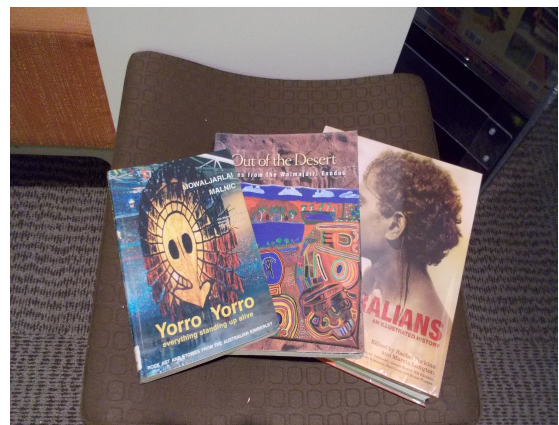


図 2 排架されていた先住民族に関する図書の一例

住民の割合は 1.2%程である。こうした点が、ブリスベン市議会図書館において先住民へのサービスが活発ではない要因になっているといえる。

3. おわりに

今回の渡航を通じて感じたことは、ブリスベン市においてはそれぞれの地域が持つ性質にあった図書館サービスが展開されているということである。市議会図書館においては、先住民族の文化を多様な文化の中の一つの文化であるとして扱っていた。また、州立図書館図書館においては、クイーンズランド州内の遠隔地の施設と緊密な連携を図りながら後世へとその伝統を継承することや、また現代における先住民族にまつわる諸問題（非先住民族との情報格差や教育問題等）を解決するための役割を果たしていることが分かった。このように、市議会図書館、州立図書館と同じ公共図書館でもそれぞれの役割を果たしているのである。今回の渡航を通して得られた調査結果を今後の研究に活かしていきたい。